

対象教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
保健体育	体育	2 単位	全学科	2 年 (女子) 6 クラス	必履修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	基礎体力の向上 何事にも一生懸命に取り組む態度を身につけさせる 生涯を通じた健康づくりの基礎となる、正しい知識を身に付けさせる
使用教科書・副教材等	

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	オリエンテーション	授業の進め方、注意点などについて説明
	集団行動	学校生活の中では集団で行動する機会が非常に多い。 集団行動の基礎を身に付け、約束や決まりを守って機敏・的確に行動するとともに、安全に留意して行動する態度を身に付ける。
	バスケットボール	ゴール型ゲームの特性を理解し、ルールをしっかりと守りゲームができるようにする。そのためには、まず基本技術を習得しなければならない。 パス・キャッチ・ドリブル・シュート練習をみっちり行い、個人的技能を身に付ける。その後、オフェンス・ディフェンス練習 (1 対 1 や、2 対 2、3 対 3) を経て、ゲームができるようにすることにより、運動の楽しさを味わうとともに、公正な態度と協調性を身に付ける。
	水泳	水泳は体育授業の中でも特に安全に行われなければならないスポーツである。 水の特性を理解し、体調管理をしっかりと行っただけで授業を受けさせる。 2 年生では背泳ぎ・バタフライの泳法を重点的に身に付けさせる。
	体育理論①	人間にとって「動く」とは何か・スポーツの始まりと変遷について理解し、体を動かすことの意味を考える。
2 学期	テニス	ネット型ゲームの特性を理解し、ルールをしっかりと守りゲームができるようにすることにより、運動の楽しさを味わうとともに、公正な態度と協調性を身に付ける。 2 年生では 1 年生で身に付けた個人的技能をより高めて、ゲームができるようにする。
	陸上	陸上競技は、人間の基礎的・基本的動作を競技化したものである。 したがって、個人の持っている体力や運動能力の水準が記録に反映されやすい。 また合理的な運動の技術を身に付けることも重要である。 各自の走力を伸ばすことと、バトンパスの技能・ハードリングの技能を高め、記録向上の喜びや競争の楽しさを味わわせるとともに、各自の体力向上に役立てさせる。
	体育理論②	文化としてのスポーツ・オリンピックと国際理解について学び、スポーツを人間の調和のとれた発達に役立てる。
3 学期	持久走	7 時間で 20 km の距離を走る。自分の能力に応じたペースで走り切り、記録に挑戦することで自己の課題を克服する心を育てる。
	バスケットボール	ゴール型ゲームの特性を理解し、ルールをしっかりと守りゲームができるようにする。1 学期で身に付けた個人技能を活用し、ゲームを行うことにより、運動の楽しさを味わい、公正な態度と協調性を身に付ける。
	体育理論③	スポーツと経済・ドーピングとスポーツ倫理について学び、スポーツを多方面からとらえ、好影響・悪影響について考える。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。 健康や安全に留意して運動しようとしているか。	授業態度
思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。 課題解決をめざして、活動の仕方を考え工夫しているか。	授業態度
技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題解決をめざして運動をおこない、技能を高めているか。 自己の体力や生活に応じた体力を高めるための運動の行い方を身に付けているか。	授業態度
知識・理解	運動技術のしくみと運動の学び方について理解できているか。	授業態度